

- ◎Gallagher, D. (1963) Feldspar in Mineral Resources of Korea, v. VI A, p. 84
 前田義盛 (1968) 長石輸入の現状と将来 セラミックス v. 3, n. 12, p. 1004-1008
- Oho, J. H. and others (1972) Study on the Recovery of Quartz and Feldspar from Granite by Flotation, Jour. Korea. Inst. Mining, v. 9, n. 2, p. 46-52
- Lee, D. N. and others (1973) Investigation Report of the Pegmatite Deposits in Korea, Rept. Geol. Mineral Explor., Part III, v. 1, p. 43-65
- 金東鶴 (1982) 珪石並びに長石鉍床 in 韓国の地質と鉍物資源 p. 391-397
- ◎Hong, Y. K. (1984) Petrology and Geochemistry of Jurassic Seol and Anyang Granites, Korea, Jour. Geol. Soc. Korea, v. 20, n. 1, p. 51-71
- Cho, M. S. and others (1985) A Study on Utilization of Low Grade Sericitic Pyrophyllite Ore and Feldspar Ore, Korea Inst. Energy and Resources (韓国動力資源研究所) 研究報告 85-19 p. 45-109
- その他 1/5万地質図幅および説明書 屯田 安養 三斤里 花開

最近中国で発見された新鉍床 — 5 —

岸本文男 (地質相談所)

XXX 四川省西部で大型多金属-金鉍床

四川省地質鉍産局の広域地質調査隊は 四川省の西部で一つの金・銀・鉄・銅型の大型金鉍床を発見し 同西部地域での金鉍床探査に新しい方向と展望を開いた。

この大型金鉍床の発見には 前後20年の春秋が経過している。すでに1962年には 鉄の鉍床としてこの鉍床が調査されたことがある。そして1966年 1/100万「昌都」図幅の広域調査の過程で 本鉍床は熱水性硫化物型銅鉍床とされた。さらに1987年 1/20万の図幅調査が行われた際に 鉍体付近の溝で昔の砂金掘りの遺跡が発見され そして同図幅内での砂金の集中分布状況が菱鉄鉍の褐鉄鉍による仮像の分布と関係あることが判った。含銅褐鉄鉍がまた菱鉄鉍仮像の特徴を備えていることも明らかになり その事実から探査方針が固められ ついに初生の含銅菱鉄鉍が発見されるに至った。そのような発見から 本鉍床の鉍床タイプについての認識が変わり 金鉍床ではないかと考えられるようになり 1978年に鉍体の上部で試料が採取され 分光分析にかけられて 当該鉍石中に金が多く含まれていることが確認され さらに翌1979年にはこれが一つの大型金鉍床であることが実証されるとともに 銀 銅 鉄 砒素 アンチモン 水銀など多くの元素を随伴し それらの元素が総合的に

回収できることも明らかになったのである。一つの鉍床に20年もの年数をかけ 繰返し調査し 探査試錐を行い やっと発見とは。その原因は 過去の総合研究と総合探査に対する認識に欠けるところがあり それらが軽視され 測定の手段がひどく立ち遅れ 探査上の求めに応じ得なかったところにある。肉眼で簡単に識別できる主要鉍物についてだけ注目し 随伴する微量元素を無視したがためである。

廖遠安
(中国地質報 1986. 2. 24)

XXXI 高州で大型カオリン鉍床

広東省高州県の沙田カオリン鉍床は 広東省地質鉍産局の704地質大隊が数年来探査を続け このたび確認したもので 規模の大きい 品質のよい大型のカテゴリーに入る鉍床である。鉍石は 白度が高く 粒度が小さく 片状を呈し 北京製紙総廠と江門製紙工場によるテストで銅版用紙の塗布剤の原料に適することが判った。最近 軽工業部がこれを正式に第七次5カ年計画の期間の重点開発対象に入れた。上記地質大隊は沙田鉍床の外周の曹嶺郷で もう一つの大型カオリン鉍床も発見したが その品質も沙田の場合と同様である。

陸悅
(中国地質報 1986. 1. 31および1986. 9. 15)